

淀川 バフグラインダ

取扱説明書



株式会社 淀川電機製作所

No. T42109

－目次－

はじめに	2
安全上のご注意	2
▲警告	3
▲Warning	警告 英-I
△注意	5
1. 概要	6
(1)現品の確認	6
(2)主な用途	6
(3)主な仕様	6
(4)外形寸法図	7
2. 据え付け	8
(1)設置場所	8
(2)設置方法	8
(3)電源の配線	9
(4)アースの取り付け	9
(5)ヒューズの点検	10
(6)回転方向の確認	10
3. 構成部品および機能	11
(1)各部の名称	11
4. 運転およびバフの取り付け(交換)	13
4-1.バフの取り付け(交換)	13
(1)バフの適合確認	13
(2)バフの取り付け	13
(3)試運転	15
4-2.運転	16
◇異常な場合の処理	16
5. 保守・点検	17
5-1. 各部の点検項目	17
(1)バフグライダ本体	17
(2)バフ	17
(3)フランジ(移動側、固定側)	17
(4)保護具等	17
6. 保証規定について	18

はじめに

この度は、淀川電機のバフグラインダをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、バフグラインダを安全にご使用頂くためのものです。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解された上で実際にご使用くださいますよう
お願い致します。また、常にこの取扱説明書をお手元に置かれることをお奨め致します。

この取扱説明書の主な内容は、

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 概要 | 4. 運転 |
| 2. 据え付け | 5. 保守・点検 |
| 3. 構成部品および機能 | 6. 保証規定について |

からなっています。

バフグラインダの設計内容に関する研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買
い上げの製品と詳細において異なる場合があります。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきまして、ご質問がおありの場合はお
買い上げの販売店または取扱説明書の裏表紙に記載している弊社営業所までご遠慮なく
お問い合わせください。

損傷や紛失などにより、取扱説明書を注文される場合または、製品に取り付けている銘板、
警告ラベル等がかすれたり破損した場合は、取扱説明書の裏表紙に記載している弊社営業
所まで発注してください。

安全上のご注意

バフグラインダを安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この
取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解される
までは運転ならびに保守・点検作業を行わないでください。

バフグラインダの知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用
ください。

この取扱説明書に示されている操作方法および安全に関する注意事項は、バフグラインダ
を所定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。

この取扱説明書に書かれていない使用方法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、すべ
てお客様(貴社)の安全基準の下で責任をもって行うようにし、不明な点はお相談ください。

この取扱説明書では、お守り頂かないと人身の危険につながる恐れのある注意事項は「**▲
警告**」という見出しの下に掲げております。

また、お守り頂かないと製品、設備などの損傷につながる恐れのある注意事項は「**▲注意**」
という見出しの下に掲げております。そして、製品の保護上、操作上の確認事項は「**注記**」と
いう見出しの後に掲げております。なお、「**▲注意**」に記載した事項でも、状況によっては重
大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

▲警告

- ◇ 感電事故に注意してください。
 - 結線またはその他電源にかかわる作業時には、必ず電源を切り、誤って元電源が入れられぬよう元電源に「投入禁止」の札を付け、元電源の管理をしてください。
 - アース(接地)を必ず取り付けてください。
- ◇ 回転方向の確認を行ってください。(三相タイプのみ)
 - 逆回転のままですと締め付けナットが緩み危険です。(正回転ではナットが締まるようになっています。)
 - 回転方向の確認には指や物での接触による確認は危険ですので絶対行わないでください。
- ◇ サーマルプロテクターが内蔵されている機種については次の点を注意ください。
 - サーマルプロテクターはモータが過負荷状態になった時に自動的に運転を停止させますが、自動復帰型ですのでスイッチ(電源)が入ったままですと運転が自動的に再開されますから、サーマルプロテクターが作動し運転が停止した時には、必ずスイッチ(電源)を切ってください。
- ◇ 構成部品の取り外しや改造は行わないでください。
 - 製品は安全面、性能面での基準の下で製作しておりますので取り外しや改造は危険です。
- ◇ インバーターによる増速運転は行わないでください。
 - モータが過負荷になることのほかに増速による回転体などの強度面で危険性が生じます。
- ◇ フランジは締め過ぎないでください。
 - 締め過ぎによるバフの破損等も起こりますので注意してください。
- ◇ 保守・点検およびパーツ等取り替え作業時には必ずスイッチ(電源)及び元電源を切ってください。又、誤って電源が投入されないように元電源の管理には十分注意を払ってください。
 - 回転体の回転が完全に停止したことを確認してください。また、作業中にスイッチが入ることのないようスイッチの管理に十分注意してください。
 - 回転体を手や手に持った物で止めないでください。
- ◇ 無理な分解・組立ては行わないでください。
 - 異常内容によっては、お客様による対応が不可能な場合がありますので必ずお買い求めの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- ◇ 無理して使用しないでください。
 - 本機的能力に合った作業としてください。
- ◇ きちんとした服装で作業をしてください。
 - 身につけているものが、巻きこまれることのないように身だしなみを整えてください。

▲ 警告

- ◇ 保護眼鏡を着用してください。
 - 作業時には、保護眼鏡を着用し、また粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。
- ◇ 作業前には、試運転をしてください。
 - 作業前には、1分以上の空転。またバフ交換時には、3分以上の空転を行い、異常の有無を点検してください。
- ◇ 労働安全衛生規則に定められている必要な教育を行ってください。
 - 使用者には、安全および衛生のための必要な教育を行ってください。
- ◇ 加工する物をしっかり保持してください。
 - 作業中に衝撃を与えないよう、特に誤って被加工物を強く打ち当てることのないようにしてください。
- ◇ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つよう作業姿勢の安定に注意してください。
- ◇ 損傷した部品がないか点検してください。
 - 使用前に、保護具やその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動することを確認してください。
 - 締め付け状態、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◇ 指定の付属品や交換パーツを使用してください。
 - 代用品の使用は危険ですので、必ず指定のパーツを使用してください。
- ◇ バフの取り扱いは、次の点を注意してください。
 - バフ専用機ですので、絶対にといしを取り付けて使用しないでください。
 - バフ寸法は、仕様寸法範囲内で使用してください。
 - ワイヤーバフなどを使用される場合は、保護カバーを設置してください。
バフ盤(布バフ、コルクバフ等を使用するバフ盤を除く。)のバフ研磨に必要な部分以外の部分には、覆いを設けなければなりません。
- ◇ 設置場所の周囲状況を考慮してください。
 - 腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転できません。
- ◇ 製品の重さを知ってください。
 - 設置・移動の際には指、足や身体のかなる部分も製品の下には入れないでください。
- ◇ 構成部品の取り付け位置には十分管理を行ってください。
- ◇ バフグラインダの駆動時は、バフの飛散方向に立たないでください。
- ◇ 回転しているバフに指等を触れないでください。
 - 指等を触れることは危険ですので絶対にしないでください。
- ◇ バフは使用機械、使用目的に合ったものを使用してください。
- ◇ 火災事故防止のため火花等が発生した作業の後には必ず粉じんの確認、点検を行ってから作業の終了としてください。

Warning

- ◇ Beware of electric shock.
 - Be sure to turn off the main power switch when you handle the power lines or other switches. Attach a 'Don't Turn On' tag to the main power switch so that it is not turned on by mistake. Use special care in managing the power supply.
 - Be sure to ground it.
- ◇ Verify the direction of rotation (Three-phased type)
 - Never operate the machine with the motor rotating in the reverse direction, because, if you do that, the nuts fixing the wheel will become loose, which is very dangerous. (If the motor rotates correctly, the nuts will remain securely fixed.)
 - Never touch the motor or the buff with your finger or anything else to make sure of the direction of rotation. It is very dangerous.
- ◇ Be aware of the following if your machine is equipped with the thermal-protector.
 - When the motor becomes overloaded, the thermal-protector begins working automatically and stops the operation of the machine. If the power remains on, operation will start when the thermal-protector is reset automatically. Therefore, be sure to cut off the power source right after the thermal-protector starts working and ceases the operation of the machine.
- ◇ Never remove or alter any components of the machine.
 - The components were manufactured according to the fixed standard of safety and function. Therefore never remove or alter any components of the machine because it is dangerous.
- ◇ Never increase the speed using the inverter.
 - It is dangerous because the motor will become overloaded, and the rotor may not be strong enough to withstand the high speed.
- ◇ Be careful not to over-tighten the flanges.
 - Too much torque may destroy the buff.
- ◇ Be sure to turn off the switch and main power switch before you start maintenance checks or the buff replacement. Use special care in managing the power supply so that it is not turned on by mistake.
 - Make sure that the rotor has stopped rotating completely. Take sufficient care in managing the power supply so that it is not turned on by mistake during the maintenance operation.
 - Do not stop a rotor by hand or with something in your hand.
- ◇ Never disassemble or assemble the unit by force.
 - Contact the manufacturer's representative from which you bought the machine or any of our sales offices because sometimes it is impossible for you to repair it on your own.

Warning

- ◇ Do not put a strain on the machine.
 - Use the machine within its capacity.
- ◇ Keep your clothes tidy when you carry out an operation.
 - Make sure your clothes are tidy so that no part of your clothes might be caught.
- ◇ Wear protective glasses.
 - Be sure to wear protective glasses when you operate the machine. A dust protection mask is also necessary for operation which generates lots of dust.
- ◇ Conduct a test run before starting operation.
 - Be sure to idle the machine for more than one minute before starting operation. When you replaced the buff, idle the machine for more than three minutes in order to check whether there is any abnormality.
- ◇ Users training is required according to the Labor Safety and Hygiene Regulations.
 - Users training is necessary to ensure safety and hygiene.
- ◇ Hold whatever you are going to process tight.
 - Be careful not to shock it, and particularly, not to hit it hard by mistake.
- ◇ Be sure to maintain a stable position.
 - Stand firmly in a good position so that you can keep balance.
- ◇ Check whether there are any broken parts.
 - Before you start operation, conduct a thorough check to see if there is any damage to protective gears or other parts and also make sure that the machine works properly.
 - Make sure every part is fastened firmly and is installed securely, and whether there is anything wrong with any of the parts that are involved in the operation.
- ◇ Use the specified accessories and replacement parts.
 - Be sure to use the specified parts because using a substitute may be dangerous.
- ◇ When you use the buff, note the following points.
 - The machine is exclusively for buff operations. Never use it with a grindstone installed.
 - Be sure the buff size is within specifications.
 - When you use the wire buff, we recommend to set safe cover.
- ◇ Consider the surroundings of the place of installation.
 - You cannot operate the machine in a place where there is corrosive, flammable, or explosive gas.
- ◇ Be aware of the weight of the machine.
 - Be careful not to put your fingers, feet, or any part of your body under the machine when setting it up or moving it.
- ◇ Be careful to install components in the correct position.

Warning

- ◇ When the buff grinder starts rotating, never stand in a direction where fragments may be scattered
- ◇ Never contact the buff with your finger while it is rotating.
 - Do not contact the buff because it is very dangerous.
- ◇ Check whether the buff fits your machine and your purpose.
- ◇ To prevent fire, after operation which generates sparks, be sure to check and confirm the situation after operating the machine as a final step.

⚠注意

- ◇ 設置場所の周囲状況を考慮してください。
 - 屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。
 - 水や油のかかる場所は避けてください。
 - 温度は-10℃以上40℃以下。湿度は80%以下でご使用ください。
- ◇ 作業の終了時には点検を行ってください。
 - 火災事故防止のため作業後には必ず、周囲に飛散した粉じんの処理又、点検を行ってください。
- ◇ 本機の過負荷保護装置又は、配電用しゃ断器が作動した時は運転を停止してください。
 - スイッチ、元電源を切って原因を究明してください。尚、原因の究明、除去するまでは運転を再開しないでください。
- ◇ 無理して使用しないでください。
 - モータがロック(停止)するような無理な負荷または作業はしないでください。モータ焼損の恐れがあります。
- ◇ 構成部品の取り付けは確実に行ってください。
- ◇ 本取扱説明書は日本国内標準仕様(单相100V、三相200V)で作成しておりますので、特注品仕様(異電圧を含む)においては別途お問い合わせください。

1. 概要

お買い上げ頂きました淀川電機のバフグラインダがお客様のご使用目的に適しておりますか、ご確認ください。

(1) 現品の確認

◎本体に取り付けてある銘板に記入されている型式、電圧、周波数等がご注文品に間違いありませんか。

◎梱包には万全をつくしておりますが、輸送中の衝撃、振動等による破損箇所がありませんか。

◎万一異常がございましたら、すぐにお買い求めの販売店へご連絡ください。

付属品: ウィット六角ネジ用スパナ(1set)

(2) 主な用途

各種の研磨・仕上げ作業など。

(3) 主な仕様

型 式	B-205S		B-205T		B-255T		B-255TH	
電 力 (kW)	0.4				0.75			
電 源 電 圧 (V)	単相 100		三相 200		三相 200			
周 波 数 (Hz)	50	60	50	60	50	60	50	60
電 流 (A)	6.8	6.2	2.0	1.8	3.9	3.6	3.6	3.5
バフ最高周速度 (m/min)	2320				1450		2890	
無負荷回転数 (rpm)	3000	3600	3000	3600	1500	1800	3000	3600
バフ寸法 (mm) 外径×厚さ×穴径	φ205×35t×φ15.88				φ255×38t×φ19.05			
外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	726×250×238				902×275×285			
据付寸法 (mm) 幅 × 奥行	140×220(4-φ12)				190×235(4-φ12)			
質 量 (kg)	32				45			

型 式	B-305T		B-305TH	
電 力 (kW)	1.5			
電 源 電 圧 (V)	三相 200			
周 波 数 (Hz)	50	60	50	60
電 流 (A)	6.8	6.5	6.4	6.2
バフ最高周速度 (m/min)	1800		3600	
無負荷回転数 (rpm)	1500	1800	3000	3600
バフ寸法 (mm) 外径×厚さ×穴径	φ305×44t×φ25.40			
外形寸法 (mm) 幅×奥行×高さ	1032×250×310			
据付寸法 (mm) 幅 × 奥行	200×200(4-φ13)			
質 量 (kg)	67			

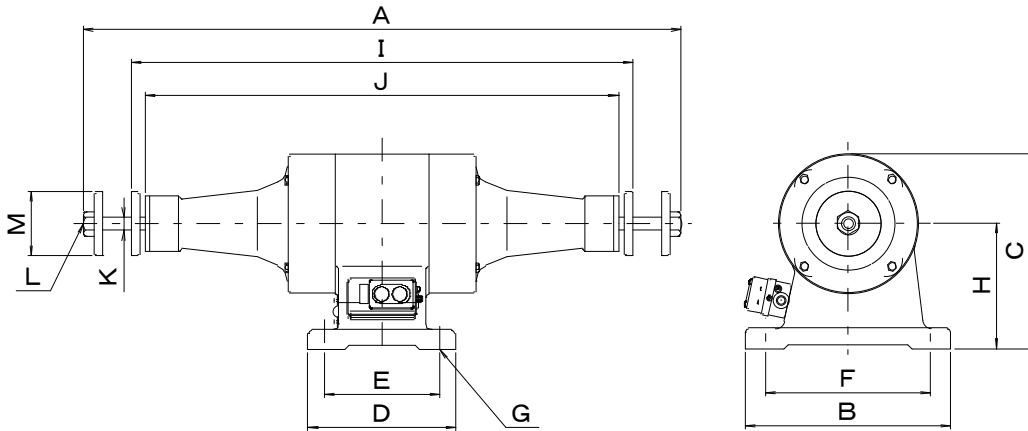
⚠ 注 意

本仕様表は標準についての仕様となっておりますので本仕様表と異なる(異電圧等)場合の機種詳細についてのご質問の場合はお問い合わせください。

(注)

- 本仕様は1φ×100V、3φ×200Vを基本に作成しておりますので、異電圧及び特注品仕様においては別途お問い合わせください。
- 性能の向上、改良の為、予告なく仕様・寸法等を変更させていただく場合がございますのでご了承ください。

(4)外形寸法図



型 式	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
B-205S B-205T	726	250	238	180	140	200	4-φ12	153	609	575	φ15.88	W 5/8	φ78
B-255T B-255TH	902	275	285	225	190	235	4-φ12	190	764	731	φ19.05	W 3/4	φ91
B-305T B-305TH	1032	250	310	250	200	200	4-φ13	200	874	832	φ25.40	W 1	φ118

(単位:mm)

- 本外形寸法図は標準品仕様で作成しておりますので、特注品仕様においては別途お問合せください。

2. 据え付け

本機は設置の場所、条件の良否によって、その寿命に大変影響を与えますので、長期間にわたり安全作業が行えるよう、以下の項目についてお守りください。

なお、作業においては、お客様(貴社)の安全基準の下で責任をもって行うようにし、不明な点はお相談ください。

(1)設置場所

◇設置場所

屋内で風雨や直射日光にさらされない所としてください。

◇周囲温度・湿度

温度は、-10℃以上40℃以下。湿度は80%以下でご使用ください。

⚠ 注意

本機を直接高温・多湿の場所にさらしますと、モータの焼損・故障の恐れがあります。

◇雰囲気

腐食性ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所では運転できません。
また風通しが良く、ホコリの少ない雰囲気でご使用ください。

⚠ 警告

腐食性・ガスや可燃性・爆発性ガスを取り扱う場所での使用禁止。

◇保守スペース

保守・点検等のスペースを確保してください。

(2)設置方法

安全にご使用いただくために、本機は作業台に取り付けてください。取り付けの際は、作業のしやすい位置へ本機が水平になるようにボルト、ナットで緩まないよう確実に固定してください。(4-M10、平座金、バネ座金を使用。)作業台は、安定の良い頑丈なものとし、必要に応じて作業台をアンカーボルト(基礎ボルト)で固定してください。

⚠ 警告

製品の質量(重さ)を知ってください。

- 設置・移動の際には指、足や身体のいかなる部分も製品の下には入れないでください。
- 持ち上げの際には、製品の安定する部分とし、回転する部分は避けてください。

(3)電源の配線

◇本機の電源仕様が供給電源に合致しているかを確認してください。

モータの単相運転又は過負荷防止のため、配線用しゃ断器(電動機用)を取り付けてください。その場合必ず適用電動機(適合電流値)のものを使用してください。
また、漏電しゃ断器なども設置することをお奨めします。

▲ 警告

漏電、感電や火災事故防止のため、配線は電気設備技術基準や内線規定に従って施工してください。

◇単相タイプ

プラグ付きコードとなっていますので、コンセント(100V)へ確実に差し込んでください。単相型ですので、常に正回転となります。

◇三相タイプ

三本のリード線それぞれを電源側と結線しますが、本機側と電源側の接続組み合わせの表示はしていませんので、最初は任意の組み合わせによる接続を行い、後に示す回転方向の確認を行ってください。

本機側と外部導線の接続は、それぞれに圧着端子を設けて、両方をネジで締め付けるか、またはそれぞれの線を絶縁圧着端子でかしめた取り付けをしてください。

接続部は、絶縁テープ等で完全に絶縁を施してください。

▲ 警告

感電事故防止のため、結線作業時には必ず元電源を切ってください。

また、誤って電源が入らないよう元電源に「投入禁止」の札を付け電源の管理に十分注意を払ってください。

◇継ぎコードを使用して電源より離れた場所で使用される場合は、継ぎコードの芯線が細いと電圧が低下し始動が困難となり、十分な能力を発揮できませんので必ず芯線の太いものをご使用ください。

▲ 警告

漏電、感電や火災事故防止のため、配線は電気設備技術基準・内線規程に従って施工してください。

(4)アースの取り付け

アース端子が設けてありますから、アース(接地)を必ず取り付けてください。電気設備基準でもアースの取り付けは義務付けられています。

警告

アースは電気設備基準に従って施工してください。

(5) ヒューズの点検

ヒューズは、銘板に記載された電流値(A)の約3倍位の容量のものが適当で、それ以下の場合には始動時に切断されます。また、同一電源から他の負荷と同時に結線される時は、ヒューズと合わせて元電源の容量も確認してください。

(6) 回転方向の確認

◇ 単相タイプ

一定回転方向ですから、何時でも正常回転します。

◇ 三相タイプ

三本のリード線の接続の組み合わせによっては、正逆どちらにも回転しますから、電源の結線が終わりましたら本機に表示してある回転方向(矢印方向が正回転)であることを確かめてください。

尚、逆回転することも考慮して、正回転であることを確認するまでは長くモータを回さないでください。

逆回転のときは、電源コードの3線中のうちいずれかの2線を互いに入れ替えてください。これにより回転方向が変更できます。

回転方向を確認した後は、電源の接続部の処置を確実に行ってください。

警告

逆回転での使用は禁止。

- モータ軸の締め付けナットが緩み危険です。

(正回転では、ナットが締まるようになっています。)

- 回転方向の確認には、指や物での接触による確認は危険ですので、絶対に行わないでください。

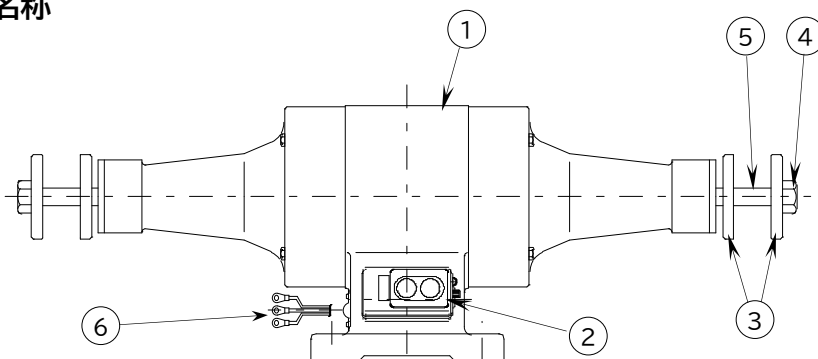
3. 構成部品および機能

バフグラインダのそれぞれの構成部品および機能を把握していただき、安全運転および安全作業が行えるようにしてください。

▲ 警告

構成部品の取り外しや、改造での使用は危険ですので絶対行わないでください。

(1)各部の名称



No.	名 称	No.	名 称
1	モータ	4	バフ固定用ナット
2	スイッチ	5	軸
3	フランジ	6	電源コード

①モータ

バフを回転させる為の駆動部分で直結となっています。

0.4kWの機種には、モータ内部に過負荷保護装置のサーマルプロテクターが内蔵されています。(但し、単相100V、三相200Vの日本標準仕様のみ内蔵)

▲ 警告

サーマルプロテクターはモータが過負荷運転となった時、モータ内部温度が上がると(約120℃前後)自動的に働いて運転を停止します。また、停止後モータ内部温度が下がると(約80℃前後)自動復帰します。

サーマルプロテクターが働いて運転停止となった場合、そのまま放置されますと、サーマルプロテクターが自動復帰し運転が自動的に再開されますから本機の電源は必ず切ってください。(保護装置による電源のしゃ断が望ましいです。)また、モータが過負荷運転となった原因を究明・除去するまでは、運転を再開させないでください。

②スイッチ

バフラインダモータの電源を入切させるためのものです。

操作は簡単な押しボタン構造です。操作は必ず手で行い、加工物などの物でたたいたり、あるいは突いたりしてスイッチを入切しないでください。

③フランジ

バフを本機の軸へ締め付けるためのものです。軸に固定される側を「固定側フランジ」、その反対側を「移動側フランジ」と呼びます。

▲ 警告

フランジは、必ず付属のものを使用してください。

- フランジの寸法や材質は、バフを締め付けるにあたって重要なものです。
- 代用品等の使用は、禁止です。

④バフ固定用ナット

バフとフランジを軸に締め付けるためのものです。

ナットのネジは、バフが正回転で締め勝手となっています。

右側のナットは右ネジ、左側のナットは左ネジとなっています。

(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ナット用スパナをご使用ください。)



ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ナット用スパナをご使用ください。

⑤軸

バフを取り付けて回転させるためのものです。軸端には、締め付け用のネジが加工してあります。右側のネジは右ネジ、左側のネジは左ネジとなっています。

⑥電源コード

電源を接続するためのものです。

電源仕様に合わせて、確実に接続してください。

4. 運転およびバフの取り付け(交換)

運転を始める前に、本機を最初にご使用される時にはバフが装着されておりませんので、最初にバフの取り付けを行ってください。

4-1. バフの取り付け(交換)

(1) バフの適合確認

- ①被研磨材料に応じた適当なバフを専門業者と相談の上選定してください。
- ②バフ寸法は、仕様寸法範囲内で使用してください。

型 式	B-205S	B-205T	B-255T	B-255TH	B-305T	B-305TH
バフ寸法 外径×厚さ×内径(mm)	205φ×35t×15.88φ		255φ×38t×19.05φ		305φ×44t×25.40φ	
無負荷回転数50/60Hz(rpm)	3000/3600		1500/1800	3000/3600	1500/1800	3000/3600

▲ 警 告

- バフ寸法は、仕様寸法範囲内としてください。
- バフ専用機ですので、といしの取り付けは禁止。
- ワイヤーバフなどは、保護カバーを設置してください。
バフ盤(布バフ、コルクバフ等を使用するバフ盤を除く。)のバフ研磨に必要な部分以外の部分には、覆いを設けなければなりません。

(2) バフの取り付け

取り付け方法が不完全であると、研磨性能が悪くなったりなど、種々のトラブルのもとになりますので、次の項目に注意して行ってください。

- ①初めてお使いになる場合は、バフが取り付けられていませんので、軸からバフ固定用ナット、フランジ(移動側)を外してください。

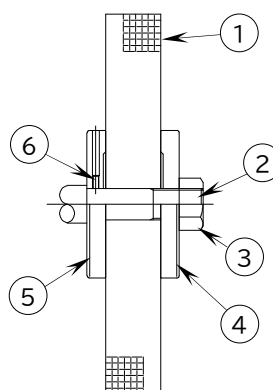
固定フランジを取り外す場合は、軸に固定するためのネジを緩めてください。

(注) ネジ部には緩み止め液を施していますので、ネジを緩める際にはネジの破損等にご注意ください。

ネジは2箇所、すりわり付き止ネジです。

(注) 本機に使用している止めネジ以外の止めネジは使用しないでください。軸に傷が付き固定フランジが取り外せなくなります。

(マイナスドライバーを使用します。)



品番	名 称
1	バフ
2	軸
3	バフ固定用ナット
4	移動側フランジ
5	固定フランジ
6	すりわり付き止ネジ

型 式	B-205S	B-205T	B-255T	B-255TH	B-305T	B-305TH
ねじの呼び	M5×15				M5×20	

▲ 警告

- 固定フランジは、軸に対して必ず固定して取り付けてください。
- 固定されないと、バフの締め付けが正常に行われなくなり危険です。
- 固定フランジを取り外した場合には、取り付けネジが確実に締まっていることを確認してください。

②取り付けは、上記と逆の手順で行いますが、取り付けを行う前に軸、フランジ及びバフのはめ合い部にごみ、油、さびなどの異物がなく、軸端のネジは、はめ合いがスムーズで軸のフレがないことを確認してください。

③フランジ(移動側、固定側)は、当り面が互いに平行な平面で、外側にそりがなく、逃げ部の内部が凸状になっていないことを確認してください。

固定フランジは、ネジにより軸へ確実に固定してください。

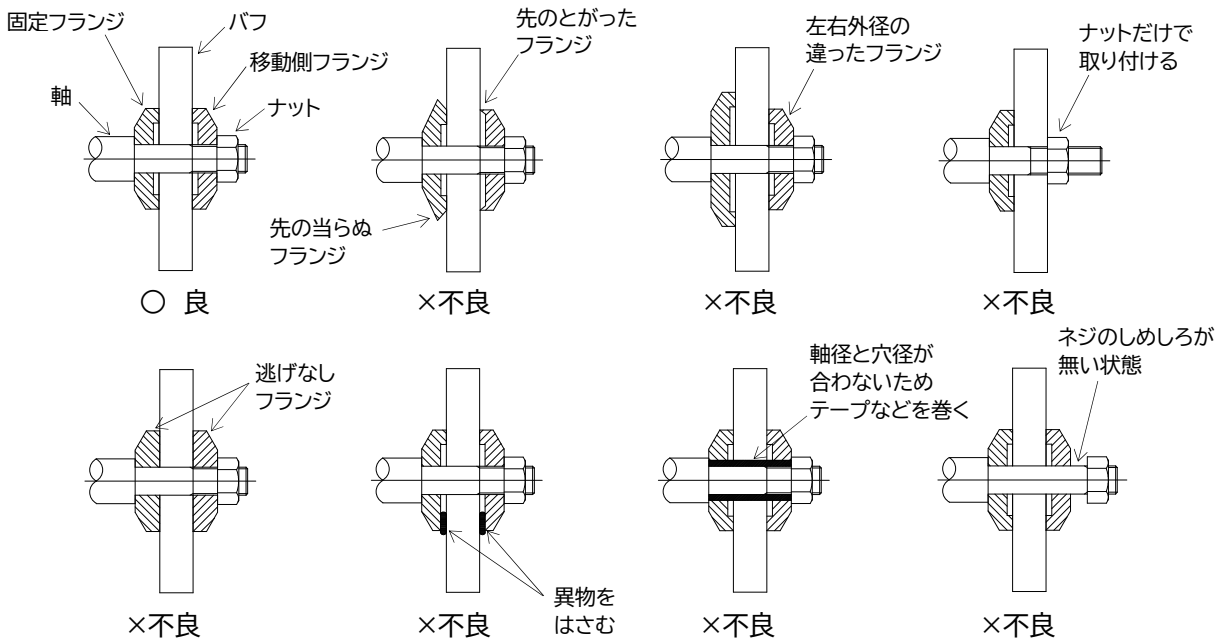
また、移動側フランジは、軸とのはめ合いがスムーズであることを確認してください。

▲ 警告

付属のフランジを必ず使用してください。

- フランジの寸法や材質は、バフを締め付けるのにあたって重要なものです。
- 代用品等の使用は、禁止です。

④取り付けは、固定フランジ、バフ、移動側フランジ、バフ固定用ナットの順に行いますが、とくにバフ軸穴と軸とのはめ合いに注意してください。軸より穴径の大きいバフの取り付けや逆に穴径の小さいバフを無理にこじったり、加工したりして取り付けないでください。



- ⑤ バフ固定用ナットを仮締めしてから、バフを手で回転させて心ぶれ(バフの外周と穴の同心度)を見てください。次に、面ぶれ(バフとフランジの接触状態)を見てください。正規の厚さより薄いバフを取り付ける場合にはナットの締めしろを確認してください。ナットの締めしろがないと、バフの取り付けが不完全になりますので必ず確認してください。尚、取り付け得る最大の厚さをこえるバフは絶対に取り付けしないでください。

▲ 警告

バフを回転させる時は、移動側フランジあるいはバフ固定用ナットの部分を手で回すようにしてください。また、回転にはモータの動力は絶対に使用しないでください。ナットが仮締めであるために危険です。

- ⑥ フランジの締め付けは、モータ軸端のネジとバフ固定用ナットにより行います。バフ固定用ナットの寸法は下記表となります。

(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ネジ用スパナをご使用ください。)

型 式	B-205S	B-205T	B-255T	B-255TH	B-305T	B-305TH
バフ外径(mmφ)	205		255		305	
ねじの呼び	W5/8		W3/4		W1	
スパナ対辺(mm)	26		32		41	

▲ 警告

フランジの締め付け力は、バフの駆動抵抗と研磨抵抗に対してすべりを起こさないだけの力でよく、これ以上の力はバフやフランジにとって有害となります。スパナにパイプをはめて締め付けたり、タガネとハンマでナットを締め付けるなどの明らかな締め過ぎは絶対に行わないでください。ネジは正回転で締まるようになっています。(※ナットの締め付け、取り外しには付属のウィット六角ネジ用スパナをご使用ください。)
 右側といしのバフ固定用ナットは右ネジ(時計回りで締まる)
 左側といしのバフ固定用ナットは左ネジ(反時計回りで締まる)
 となっていますので方向に注意してください。

(3) 試運転

バフ取り付け後(交換)の試運転は、次の要領で行ってください。

- ① 指定保護具(防じん眼鏡等)の完全着用を励行してください。
- ② スイッチを入れる前には作業位置に注意し、バフの正面は避けてください。
- ③ 空転時間は3分以上とし、この間に振動または、異常音がないかを確認してください。
- ④ 異常があった場合には、スイッチを切るとともに直ちにその原因を究明するようにしてください。
- ⑤ 空転して異常がなければ、ためし削りをしてください。
この時、安全性と併せて研磨性もチェックしてください。

4-2.運転

- (1) 運転を始める前に据え付けの各項目が守られているかを確認してください。
- (2) 身につけているものが巻き込まれることのない様に、身だしなみを整えてください。
そして、保護眼鏡の着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- (3) スイッチを入れる時には、バフの正面に立たないでください。
- (4) バフを回転駆動後は、研磨を始める前に、1分以上の試運転(空転)をさせてください。
バフを新しいものに取り替えた時の試運転は3分以上としてください。
その時にバフのアンバランスや異常振動又は異常音の有無を点検してください。

▲ 警告

インバーターによる増速運転は絶対にしないでください。
モータが過負荷になることのほか、増速による回転体などの強度面で危険です。

- (5) 試運転して異常がなければ、ためし削りをしてください。
この時、安全性と併せて研磨性もチェックしてください。

▲ 警告

回転しているバフに指や手を触れることは危険ですので、絶対にしないでください。

- (6) 研磨作業中は、バフに衝撃を与えないよう、とくに誤って被加工物をバフに強く打ち当たることのないように注意してください。
- (7) 作業終了時には、必ず本機および作業場の確認・点検を行ってください。
とくに、火花等が発生した作業の後には、火災防止のため必ず確認・点検を行ってください。

◇異常な場合の処理

異常時には必ず電源を切ってから、その原因究明を行うようにしてください。

異常内容	原因・点検	対策
モータが回転しない	電源の接続不備	正常に配線
	過負荷保護装置の作動 (B-205S、B-205T)	電源電圧は±10%以内
		欠相(三相の場合)は正常に配線
		過負荷作業の確認(定格は全負荷で30分)
	モータの焼損	新品に取り替え修理
異常音及び振動	軸受けの異常	新品に取り替え修理

▲ 警告

異常内容によっては、お客様による対策が不可能な場合がありますので分解、組立ては行わないでください。

5. 保守・点検

長期間安全に運転できるように、定期的に休止して各部の保守・点検をしてください。

5-1. 各部の点検項目

(1) バフグラインダ本体

- ◇定格電圧は、電源電圧に適合していますか。
- ◇バフの回転方向は正しいですか。
- ◇アース(接地)は適正になされていますか。
- ◇コード、プラグ等に異常はないですか。
- ◇締め付け部に緩みはないですか。
- ◇異常な音や振動が生じていませんか。
※軸受けはシールド型のためグリース補給の必要がありませんが長期間使用により損耗した場合は取り替え修理となります。
- ◇モータに異常な発熱が発生していませんか。
- ◇操作スイッチは確実に作動しますか。

(2) バフ

- ◇寸法・規格に適合していますか。
- ◇加工材に対し、適正ですか。
- ◇回転方向は正しいですか。(矢印方向)
- ◇きずや欠損部分はありませんか。
- ◇目詰まりは発生していませんか。
- ◇摩耗しすぎていませんか。

(3) フランジ(移動側、固定側)

- ◇当り面が互いに平行な平面でそり等の変形が生じていませんか。
- ◇逃げ部の内側が凸状になっていませんか。
- ◇固定側は、ビスにより軸に固定されていますか。
- ◇軸とのはめ合いはスムーズですか。
- ◇取り付け具以外の代用品を用いていませんか。

(4) 保護具等

- ◇作業時に防じん眼鏡の着用が行われていますか。

6. 保証規定について

保証規定

下記に明示した期間、条件のもとに於いて無償修理を規定するものです。

保証期間

お買い上げ日より1ヶ年とします。

保証範囲

- 1) 保証期間内に正常な使用状態において、本機を構成する部品に材料上、又は、製造上に起因する不具合が現れ、弊社がそれを認めた場合は、無償で当該部品の交換又は修理を致します。
尚、故障に伴う機械の休止補償等、他の二次的損失の補償は含みません。
- 2) 保証期間内でも、下記事項に該当する場合は保証致しません。
 - (イ)弊社に連絡なしに修理又は改造された場合、及びその修理又は改造が原因で誘発した故障。
 - (ロ)弊社の「取扱説明書」に示す正しい保守又は整備を行わなかったことが原因で誘発した故障。
 - (ハ)天災・過失・事故・故意あるいは第三者の加害による損傷及びそれが原因と認められる故障。
- 3) 本保証規定は日本国内においてのみ有効です。
- 4) 正規代理店が販売したもの、もしくは正規販売ルートのもの以外は保証対象外になります。また、アフターフォローもできません。

特記事項

保証期間内外を問わず、又、使用国を問わず作業中に発生する火花等や集塵対象物等に起因する事故・火災等や弊社の取扱説明書に示す正しい使用等を行わなかったことに起因する事故・火災等は保証対象外です。又、それに伴う二次的損失に対しても補償外となります。

PRODUCTS

- 電動送風機 ■ ■集塵装置付両頭グラインダ
- カートリッジフィルター集塵機 ■ ■集塵装置付バフグラインダ
- コンピュータ制御集塵機 ■ ■集塵装置付ベルトグラインダ
- 集塵装置付作業台 ■ ■両頭グラインダ
- エアブロー専用集塵作業台 ■ ■バフグラインダ
- 溶接ヒュームコレクター ■ ■ベルトグラインダ



YODOGAWA

生産性を高める快適環境づくり

Partner For Clean Factory

株式会社 淀川電機製作所

<http://www.yodogawadenki.co.jp>

- 大阪営業所 〒561-0891大阪府豊中市走井2丁目1番8号
TEL 06(6853)2621代 ● FAX 06(6853)3155
- 東京営業所 〒168-0073東京都杉並区下高井戸4丁目3番1号
TEL 03(3303)0700代 ● FAX 03(3303)0824
- 名古屋営業所 〒466-0847名古屋市昭和区長池町3丁目34番3号-B
TEL 052(852)8167代 ● FAX 052(852)8169
- 福岡営業所 〒811-1253福岡県那珂川市仲2丁目1番16号
TEL 092(953)0661代 ● FAX 092(953)1806
- 本社・工場 〒561-0891大阪府豊中市走井2丁目1番8号
TEL 06(6853)2621代 ● FAX 06(6853)3155